

施策評価管理シート

2023(令和5)年6月作成

施策体系	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの推進		
	施策	1	生涯学習		

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 市民一人ひとりが自らの資質の向上や学習を通して多様な交流を広げ、心かよう地域社会の進展のために、生涯学習のまちづくりを進めます。
- 生涯学習活動を進めるための情報提供や、学び続けることのできる環境の整備を進めるとともに、身に付けた知識や経験を社会で生かすことができる仕組みづくりに取り組みます。

2. 令和4年度の実績内容及びその成果



- ・社会教育教育委員から、令和4年3月に提出された子どもを核とした生涯学習ネットワークの構築についての提言を受けて、その実現に向けた話し合いや社会教育委員としての取組の発表を行いました。
- ・地域の市民センター等が生涯学習活動の拠点として、また地域住民の学習の場としての機能を果たせるよう地域での活動等の情報提供を行いました。また、市民センター等における生涯学習に関する事業を統括管理する生涯学習リーダーをもって組織する名張市生涯学習推進協議会で、市民センター間での情報交換などを実施し、生涯学習の推進を図りました。
- ・生涯学習講座については、5講座に取り組みました。名張の文化等に触れる講座だけでなく、初心者向けのスマートフォンの使い方講座や三重県生涯学習センター主催講座へのサテライト会場を開設しライブ中継を実施するなど、ICTを取り入れた講座も開催しました。
- ・高等教育機関等と連携した取組については、皇學館大学との共催で行っている「皇學館大学ふるさと講座」(年2回実施)の開催とあわせて、近畿大学工業高等専門学校との共同研究で名張市旧市街地(旧町)における調査研究発表を市民に周知し、一般参加してもらうなど、市内における生涯学習の振興を図りました。
- ・図書館においては、利用者ニーズを的確に把握しながら、市民が必要とする図書館資料を適切に提供するとともに、市民の図書館への関心を高めるため、各種企画展示等を実施しました。合わせて、ボランティア講習会、研修会を開催し、延べ107名の参加をいただき、ボランティア育成にも努めました。また、コロナ禍により図書館サービスを縮小せざるを得ない状況においても、図書館業務民間委託事業者と協働し、館内掲示の改善や図書館ホームページでの情報発信等を進め、サービス向上に努めました。
- ・国の交付金を活用し、市が有する郷土資料(文化財及び関連資料、図書資料)をデジタル化、データベース化し、「名張市デジタルアーカイブおきつも」サイトの公開及び図書館情報システムにおける郷土資料館蔵書のデータベース化を行いました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	達成率
目的を持って生涯学習に取り組んでいる市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	46.0	
	成果	42.5	41.6	41.7	39.9	42.3	40.3	0.0%
市民センター等における家庭教育講座の講座数(講座)	目標	-	-	-	-	-	90	
	成果	85	88	93	36	14	67	0.0%
市民一人あたりの年間図書貸出冊数(冊)	目標	-	-	-	-	-	7.0	
	成果	6.4	6.2	5.4	4.3	4.9	4.8	0.0%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・社会教育委員会議では、教育委員会の諮問等により、生涯学習はもとより、社会教育に関連する多様な事項について協議を行っています。多様化するニーズを施策に反映させる事業・取組を検討する必要があります。
- ・市民センター等が、地域住民の身近な学びの場としての機能を支援できるよう、地域での活動内容を生涯学習推進協議会で交流・共有を行うとともに、地域住民が学習した成果を地域づくりへとつなげる取組を進めます。あわせて、高度化する住民ニーズに応えるため、皇學館大学や近畿大学工業高等専門学校等の高等教育機関ともさらに強化し、取組を進めて行く必要があります。
- ・「目的を持って生涯学習に取り組んでいる市民の割合」については、コロナ禍で高齢者サークルの活動等が休止となるなど学ぶ機会の減少が影響していると考えており、日々の生活行動にあわせ、生涯学習という意識啓発の工夫や生涯学習に関する情報提供の仕方が重要と考えており、引き続き、取組を進める必要があります。また、市民センターにおける家庭教育講座の講座数については、目標値には達していませんが講座数は増加傾向にあることから、今後も市民センター等関係機関と連携する必要があると考えています。
- ・図書館における市民一人あたりの年間図書貸出冊数は、前年度に比べ微減しています。空調機器の故障による改修工事や新型コロナウイルス感染症防止対策に伴うサービスの制限等が要因と考えられ、コロナ禍前の入館者数とは未だ大きな隔りがあります。入館者数回復に向け、今後、市民が必要とする図書館資料の適切な提供のための利用者ニーズの的確な把握、図書館業務民間委託事業者等と協働して、利用者の多様なニーズに応える図書館サービスや取組を行う必要があります。
- ・「名張市デジタルアーカイブおきつも」サイトについて、経費の節減をしつつ、内容の充実を図る必要があります。

5. 分析結果を踏まえた新総合計画推進に向けた施策の取組内容（令和5年度以降）



- ・生涯学習推進協議会の機能を高める取組を進め、地域住民が自己研鑽を続けることができ、学んだ人たちがその学習成果を地域に還元し、市民全体の絆を作り上げていく場の構築に努めます。
- ・なばり学の進捗により、郷土学習に対する市民の関心が高まっています。なばりカレッジや出前トークなどの機会を通じて、「ふるさと名張」の情報発信に努めます。また、市民ニーズが多様化している中で、関係団体や高等教育機関等と連携し、地域課題解決につながる講座や、青少年の社会参加活動につながる事業の実施に取り組みます。
- ・図書館においては、引き続き、市民が必要とする図書館資料の確保に努めるとともに、県内外の図書館とのネットワークを活用することにより、資料を適切に提供します。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の緩和による休止中の図書館サービスを順次再開し、図書館業務民間委託事業者と協働して市民の学習意欲を高める取組や、関係団体やボランティアなど多様な主体と連携することで、利用者の多様なニーズに応えるよう努めます。あわせて、多様化・高度化する利用者ニーズに対応するため、指定管理者制度の導入も視野に入れた抜本的な見直しを進めていきます。
- ・「名張市デジタルアーカイブおきつも」サイトについて、一層の充実を図るとともに、学校現場はもとより、広く市民に活用いただけるよう広報周知や活用講座の実施などにも取組み、市民が郷土資料に親しみ、活用できることにより、郷土愛を育んでいきます。
- ・図書館設備の老朽による男女トイレの水洗洋式化の改修工事を早急を実施し、図書館サービスの向上を図ります。

施策を構成する主な事務事業

*R4決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和4年度内容	R4決算額	うち 一般財源
一般	図書館改修事業	教育委員会事務局	図書館	経年劣化により故障した空調設備の改修を行いました。	38,354	1